

委員会通信

地域強靱化計画の策定について

6月16日に開かれた総務委員会において、地域強靱化計画の策定について報告がありました。

本計画は、大規模自然災害に対する本市の脆弱性を認識し、事前防災及び減災その他迅速な復旧等に資する施策を総合的に実施するため、地域強靱化の観点から、都市計画・地域防災・地域創生・インフラ長寿命化など各分野の計画に対し、指針として位置づけられるもので、計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間です。

本市の脆弱性評価を行い、8の事前に備えるべき目標と43の起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を設定し、シナリオごとに推進方針と施策、進捗管理する各課事業を関連事業一覧として記載しています。

シティセールス基本方針及び下水道事業経営戦略の策定について

6月17日に開かれた経済委員会において、次のとおり報告がありました。

●シティセールス基本方針の策定

キャッチフレーズを「ここにしかない、魅力がある『がまごおりじなる』とし、シビックプライド（わがまち意識）の向上や定住人口・交流人口の増加を図



がまごおりじなる
シティセールスロゴ

ることを目指します。

また、基本方針を具体的に推進するため、官民連携の「チーム蒲郡」による強力な推進体制を構築します。

●下水道事業経営戦略の策定

平成31年4月より企業会計に移行したことを踏まえ、複式簿記、発生主義による会計数値を用いた新たな経営戦略を策定し、持続可能な下水道事業運営を図っていくものです。

計画期間は令和3年度から令和12年度までとします。投資計画としては、令和元年度に63・7%の下水道普及率について、令和12年度時点で83%以上の実現を目指します。

財源計画としては、経費回収率100%以上の実現、将来の更新投資を見据えた適切な資金残高の確保を目指します。

地域公共交通計画の策定及び塩津北保育園跡地の利活用について

6月18日に開かれた文教委員会において、次のとおり報告がありました。



4月より運行開始した「ひめはるくるりんバス」

●地域公共交通計画の策定

市では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、平成28年6月に「蒲郡市地域公共交通網形成計画」を定め、公共交通を一体的に改善する施策を進めてきました。

これまでの取組を継続するとともに、公共交通事業を取巻く環境の変化に対応し、現計画の評価や住民ニーズから分かった課題・問題を解決するため、新たな「蒲郡市地域公共交通計画」を策定するものです。

●塩津北保育園跡地の利活用

塩津北保育園が令和3年

3月末をもって閉園となったことに伴い、跡地の利活用として民間事業者による小規模保育事業の展開と児童遊園地の移設を行います。小規模保育事業は、緊急に対応しなければならぬ低年齢児（0歳児から2歳児）保育の待機児童発生回避のために必要な方策として実施するものです。

また、現在の児童遊園地（奥林児童遊園地）の環境の悪さから有効に利用されていない問題を解消するため、保育園跡地の遊具等を有効活用した児童遊園地を整備します。



3月末に閉園となった塩津北保育園